

1 目指す学校

本校の教育目標「創造・連帯・人間性」を達成するために、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、交流教育の充実を図り、生徒の個に応じた能力の伸長を図る。これをとおして豊かな人間性をもち、自ら学び、考え行動するグローバル社会を生き抜く人材を育成するとともに、保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。

- (1) 積極的に学習する態度を身に付けさせ、学習意欲と学力の向上を図る。
- (2) 体系的な進路指導を推進し、個に即した進路実現を支援する。
- (3) 集団の一員としてよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
- (4) 自他を尊重し、集団への所属感を深め、責任をもって行動できる態度を育成する。
- (5) 生徒自身に自己理解を深めさせ、自己を生かす能力の育成を図る。

2 中期的目標

(1) 進路指導の充実

- ① 3年間を見通した指導計画のもとに、組織的な進路指導を推進する。
- ② これからの大学入試に対応するための取組を組織的に行う。
- ③ 進路への内的動機を喚起すると共に、個々の特性を伸長させ最適な進路実現を図る。
- ④ 大学等上級学校の情報提供を綿密に図り、進学への意欲と目的意識を涵養する。
- ⑤ キャリア教育の充実を図り、自らの進路を選択・決定する能力を育成する。

(2) 学習活動の充実

- ① 生徒の視点に立った分かりやすい授業及び主体的対話的な深い学びを意識した授業への改善に全校で取り組む。
- ② 授業時数を確保し、基礎学力の定着を図ると共に、応用・発展の学力を養う。
- ③ 予習・復習の習慣付けを通して家庭学習等の定着を図る。
- ④ 生徒の学習状況を共有し、放課後や土曜日、長期休業中の補習、講習を組織的・計画的に展開し、学力の伸長を図る。

(3) 生活指導・教育相談の充実

- ① 基本的な生活習慣を確立・定着させ、社会人基礎力を育成する。
- ② 学校への帰属意識を高めると共に、集団の一員としての自覚ある態度を育成する。
- ③ 安全教育、防災教育、薬物乱用防止教育などを通して、自他の生命を尊ぶ態度、安全を確保する能力を育成する。
- ④ スクールカウンセラーと連携し、特別支援教育、教育相談の充実を図り、生徒の安全で安心な学校生活を確保する。
- ⑤ 3年間の進路指導を見据えた計画的・段階的な生活指導を通して、進路実現を図る。

(4) 特別活動・交流教育の充実

- ① 部活動充実校として、部活動・特別活動の充実を図るとともに、部活動への加入率を向上させ、生徒が自主的に活動する能力を育成する。
- ② 都立府中けやきの森学園との交流内容の充実を図り、特別支援教育を推進する。
- ③ 生徒会、委員会、部活動、ボランティア活動への積極的な参加を促し、社会に積極的に貢献する意欲・態度を育成する。
- ④ オリンピック・パラリンピック教育に関する教育の推進を実施する。

(5) 広報活動・学校運営の改善・充実

- ① 校舎建替えに向け、生徒募集対策への組織的取組みを推進し、生徒確保を強化する。
- ② 地域や小・中学校に教育活動を積極的に発信し、地域に開かれた学校づくりを推進する。

(6) 学校運営の改善・充実

- ① 学校運営連絡協議会における学校評価等を真摯に受け止め、適切に学校運営に生かすとともに、企画調整会議、分掌間の連携を密にし、透明性のある学校運営を推進する。
- ② ライフワークバランスを推進する。

3 今年度の取組目標と方策

(1) 教育活動の目標と方策

① 体系的な進路指導を推進し、希望進路の実現を図る。

- ・学年や進路指導部との密接な連携により、効果的な進路実現が図られるよう組織的・計画的な進路指導を進める。
- ・生徒の希望進路・学習状況等の情報を共有化するとともに、校外模擬試験等の進路に関する結果を活用し、希望進路の実現を支援する。
- ・高大連携※を推進することで多様な学びの機会を提供し、大学進学への意欲と目的意識を喚起する。※杏林大学（AP 協定）、東京経済大学、桜美林大学
- ・過去の大学進学実績を分析し、本校が目指す進学指導計画を策定することにより組織的に進学指導する。
- ・新しい大学入学試験に対応するための準備を計画的に行う。

② 学習指導の充実を図る。

- ・学力スタンダードを意識して、生徒の視点に立った「分かる授業」を推進し、進路を実現できる学力の向上を図る。
- ・習熟度別授業、少人数指導、補習・講習等の充実を通して学習意欲と学力の向上を図る。
- ・学年会、教科主任会等で生徒の学習について討議を深め、課題を全校で共有する。
- ・総合的な学習の時間、「人間と社会」に組織的に取組み、内容の充実を図る。
- ・読書することを奨励し、読書に親しむ生徒を増やすとともに、図書館の利用者数を増やす。
- ・指導教諭の授業を参観し、授業力の向上に努める。

③ 基本的な生活習慣の指導徹底し、生徒理解の深化を図る。

- ・集団生活のマナー（挨拶、礼儀、携帯電話の使用法等）や頭髮・服装、ピアスなど身だしなみ、時間厳守についての指導を徹底し、規律ある学校生活を送らせる。
- ・交通安全、防災体験活動、薬物乱用防止の指導を通して、自他の生命を尊ぶ態度や自ら安全を確保する能力を育てる。
- ・教育相談（特別支援教育）推進委員会、スクールカウンセラーとの連携により生徒理解を深め、いじめ及び自殺の未然防止、早期発見に努める。
- ・ゴミのリサイクルや分別を徹底し、学習する場にふさわしい教室環境を確保する。
- ・生徒の美化委員会を活性化させ、校内美化への創意ある取組みを促し、支援する。

③ 部活動充実校として部活動・特別活動等の充実を図り、学校生活に意欲をもたせる。

- ・部活動への加入者数を増加し、体力及び競技力の向上を図る。
- ・部活動や特別活動の内容を充実させるとともに、これらを通して集団への帰属意識及び規範意識を涵養する。
- ・学校行事の運営に生徒会、委員会など生徒会組織を活用し主体的に取組ませることで、学校行事の活性化と充実を図る。
- ・スポーツ特別強化校（ボクシング部）として、部活動全般の強化を図る。
- ・理数研究校（生物部）として、大学等と連携した研究を推進する。

⑤ 入りたい学校を目指すため、広報活動に力点をおき、入学者選抜の倍率を確保する。

- ・教務総務部を中心に創意・工夫した生徒募集対策を組織的に実施する。
- ・新校舎完成を視野に入れ、生徒確保に向けた広報活動を一層強化する。

⑥ 組織的な学校運営を推進し、生徒・保護者等への学校の満足度を高める。

- ・教員による各委員会を活性化し、組織的な学校運営を推進する。
- ・服務事故防止及び個人情報の管理について意識を高め、組織的に安全管理に努める。
- ・体罰については、外部指導員も含め継続的に根絶する。
- ・会議の精選をするなど、長時間勤務の縮減を図る。

(2) 重点目標と具体的な目標

① 組織的に進路指導を推進し、希望進路の実現を図る。

- ・ センター試験受験者 100名以上
- ・ 難関私立大学又は国公立大学合格者 1名以上
- ・ GMARCH 合格者 5名以上
- ・ 日東駒専合格者 30名以上
- ・ 4年制大学への進学率 50%以上
- ・ 進路未決定率 10%未満
- ・ 就職希望者決定率 100%

② 学習指導の充実を図る。

- ・ 補習及び講習 毎週実施
- ・ 長期休業中の補習・講習 50講座以上
- ・ 図書館利用者数 昨年比10%増以上

③ 基本的な生活習慣の指導を徹底し、生徒理解の深化を図る。

- ・ 茶髪、ピアス 0
- ・ 遅刻 年間延べ人数5000以下
- ・ 特別指導件数 5件以下
- ・ いじめ、体罰 0件

④ 部活動充実校として部活動・特別活動等の充実を図り、学校生活に意欲をもたせる。

※部活動充実校4年目

- ・ 野球部 西東京大会ベスト32以上
- ・ サッカー部 都大会ベスト8以上 Tリーグ昇格
- ・ 女子バスケットボール部 都大会ベスト16以上・関東大会出場（5年以内）
- ・ 女子バレーボール部 都大会ベスト16以上・関東大会出場（5年以内）
- ・ ボクシング部（スポーツ特別強化校） 関東大会出場継続、関東大会優勝
全国大会（インターハイ、全国選抜大会、国体）
- ・ 陸上部 都大会連続出場
- ・ 和太鼓部 全国総合文化祭出場
- ・ 部活動加入率80%以上

⑤ 入りたい学校を目指すため、広報活動に力点をおき、入学者選抜の倍率を確保する。

- ・ 推薦入試 3.5倍以上
- ・ 入学者選抜倍率（前期入試）を1.4倍以上
- ・ HP年間アクセス 25万回以上
- ・ 学校説明会来場者数 2000名以上
- ・ 学校見学者数 2500名以上

⑥ 組織的な学校運営を推進し、生徒や保護者・地域から満足のいく学校をつくる。

- ・ 生徒学校満足度 80%以上
- ・ 保護者・地域の学校満足度 80%以上